

令和2年度「学校教育自己診断(保護者版)」集計結果とご報告

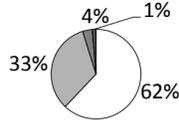
大阪府立茨木高等学校

日頃は本校教育にご尽力いただきましてありがとうございます。年始(1月15日〆切)にご依頼いたしました「学校教育自己診断(保護者版)」の集計が出来上がりました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年取り組んでいる行事を中止、あるいは内容を変更しての実施とせざるを得ませんでした。保護者のみなさまにおかれましては、ご判断が困難な設問もある中、多くの方々にご協力いただき、回収率も昨年度を遙かに上回り、大変感謝いたしております。
その「集計結果のご報告」と自由記入欄にご記入いただいた「ご意見、ご質問へのお答え」も併せてさせていただきます。

① 回収総数 945通 91.2% (令和元年度 874通 84.1%)

② アンケート集計結果

【グラフと凡例】



□よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったく当てはまらない

質問番号	質問内容	1年生 回答数 293人 91.3%	2年生 回答数 328人 91.1%	3年生 回答数 324人 91.3%
1	学校が『高い志』の涵養を図る一環として、「学問発見講座」「卒業生講座」を開いたり、京都大学、大阪大学、東京大学等を中心とする「研究室訪問」を数多く実施したりしていることは望ましいことだと思う。			
2	学校が『自主自律の精神』『高い志』の涵養をめざしてリーダー育成プログラムを定期的実施し、HR・学年・学校行事や部活動を活性化させたり課題解決能力を身につけたりしていることは望ましいことだと思う。			
3	学校が『自主自律の精神』の育成のため、生徒にボランティア活動や地域と連携した活動等への積極的な参加を推奨していることは望ましいことだと思う。			
4	学校が『自学自習の精神』の育成のため、図書室の利用を促し、読書指導を行っていることは望ましいことだと思う。			
5	学校が『教員の授業力向上』をいっそう進めるために、すべての教員について生徒に授業アンケートを実施し、アンケート結果を教科からの意見を添えて生徒に公表していることは望ましいことだと思う。			
6	生徒(お子様)は、学校へ行くのを楽しみにしている。			
7	生徒(お子様)は、授業がためになると言っている。			

8	学校の生徒指導の方針に共感できる。			
9	学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。			
10	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。			
11	学校は、生徒に生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。			
12	学校は、教育情報について提供の努力をしている。			
13	この学校の「公開授業」や「学校行事」に参加したことがある。			

③ 結果について

(ア) 設問1から5は、本校「独自のアンケート項目」です。

◇本校の取組みについて、設問1は99%、設問2は98%、設問3は96%、設問4は95%、設問5は97%と、保護者の皆様にご理解、ご支持をいただいています。今年度は残念ながら実施できなかった取組みも、来年度は社会情勢も考慮しながら実施できるよう努めてまいります。

(イ) 設問6から13は、「大阪府教育委員会」が全府立高校に、保護者への聞き取りを求めている「共通アンケート項目」です。

◇「生徒(お子様)は、学校へ行くのを楽しみにしている」という設問に対して「よくあてはまる」「ややあてはまる」というご回答が各学年ともに昨年同様高い数値を示しています(昨年度・今年度ともに92%)。

◇設問7～設問11においては、「よくあてはまる」「ややあてはまる」というご回答の割合が昨年度を上回っています。

◇設問12は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」というご回答の割合が88%(昨年度90%)でした。お子様を通じてのプリントでのお知らせの他、学校WEBページへの掲載等、今後いっそうの情報提供に努めてまいります。

◇設問13は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」というご回答の割合は79%(昨年度92%)でした。新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢を考慮しながら、来年度は保護者のみなさまにご来校いただける機会を増やせるよう努めてまいります。

(ウ) 自由記入欄のご意見

コロナ禍という困難に直面しながらも一生懸命努力をする生徒たちを、ご家庭で支え見守ってくださっている保護者のみなさまからのご意見を多数いただきました。

◇学校生活全般について

本校の教育目標の一つでもある「自主自律」について、「茨高の良い伝統」であるとの評価をいただく一方、「自律」をめざすのは無理があるのではないかと、というご意見もいただきました。「自主自律」の精神を涵養するのは容易なことではありませんが、さまざまな試行錯誤を経て、高校生活の中で身につけてほしいと考えています。我々教職員は、生徒のみなさんを見守り、必要に応じて助言をしていきます。もし、何かご家庭でお気づきの点等ございましたら、HR担任、部活動顧問等にご相談いただければ幸いです。尚、懇談期間でなくても、ご希望があれば面談を設定することも可能です。

◇授業・学習面

授業において、あるいは夏休み・冬休み等の期間における「学習課題」の量について、「多すぎる」あるいは逆に「もっと多くてもよいのではないか」というご意見がありました。各教科では、時期や学習進度に応じて課題を課しているのですが、適量でないと感じる場合は、授業担当者に相談するよう、お子様にお勧めいただきたく存じます。課題への取組み方、あるいはプラスαの課題等について、助言させていただきます。

◇学校行事について

今年度、多くの行事や取組みが中止や内容を変更しての実施となった点についてのご意見を多数いただきました。新型コロナウイルス感染症という未知の感染症に対し、生徒のみなさんの命・健康を第一に考えた結果とはいえ、我々教職員も、たいへん残念に思っています。特に、第3学年の生徒のみなさんの集大成ともいえる「体育祭」、入学直後から着々と準備を進めてきた第2学年の「宿泊野行事」が実施できなかったことについては、我々教職員も断腸の思いです。今後の社会情勢を考慮しながら、今できる精一杯のことを、生徒のみなさんと共に考え工夫してまいりたいと存じます。保護者のみなさまにおかれましても、これからもどうぞご協力、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

*「学校教育自己診断」は、「保護者版」・「生徒版」・「教職員版」の結果を、本校ホームページでも公開してまいりますので、追ってご確認下さい。